

●視察先候補の概要について

<スイス>

◆① スイス国民経済省農業局 <酪農業・農業関連団体>

住所：Bern（ベルン） <https://www.blw.admin.ch/blw/de/home.html>

視察内容：スイスの酪農業全般についてのレクチャー・

スイス連邦の国民経済省農業局は、下記の役割を持っている。

- ① 多目的（多角的）農業
- ② 農業の条件づくり
- ③ 国内に七つある研究所の運営
- ④ 国連食料農業機関（FAO）事務局
- ⑤ 種の保護
- ⑥ 農業政策の決定事項の実施など、連邦の農業振興の中核機関。

農業政策では特に「直接所得補償」が注目され、支持価格の引き下げに伴う農家所得の損失補完や、生産条件、傾斜地、環境保全など目的、条件に応じて支払われる。その決定の権限は州にある。

州が代行（申請→州で審査・判断）、受給者を決め、連邦が払うシステム。

国土の四割が農業生産に使われ、農業は自然保護・景観など国土保全に大きな役割を担う。特に、山岳農業は農業経営だけでなく、観光・景観の保全（手入れ）に力を発揮している。国内農家八万戸のうち山岳農業は41%。専業は七割を占める。



◆② アルフレッド・コルブ酪農農家 <酪農経営農場>

住所：Luetschental（ルツェンタール） ※ベルンより、約70km

概要：インターラーケンとグリーンデルワルドの中間に位置するルツェンタールにある山岳農家です。

コルブ夫妻が経営するこの農家は、約20頭の乳牛を飼育している酪農農家で、夏場に乳牛を放牧しています。夏場は牛乳、冬場はチーズを生産し、ファーム内の直販所で販売もしております。

スタッフ数は3名、敷地面積は約720平方メートル、年間売上は約50,000スイスフラン、年間訪問者数は250名、1860年代から続く家族経営農家です。

スイスの農業は険しい道に立たされています。高い農業コスト、下がる価格、そして国外からの輸入農産物の関税撤廃に関する交渉がスイスの農業存続を脅かしています。政府の農業構造改革によって3分の1の農家が廃業、現在では兼業農家が多くなりました。

コルブ農家も、冬場にはスキーリフトの仕事を行って収入を得ている兼業農家です。政府の提案している農業政策は農家にとってプラスになるものではなく、スイスの農家は政府の支援を呼びかけています。



◆③ エメンタールチーズ工場

住所：Emmental（エメンタール） ※ベルンより、約 35km

概要：エメンタールチーズは、硬質チーズのひとつで、スイスのベルン北東部エメン渓谷近郊、エメンタール地方が原産のために、こう呼ばれます。チーズフォンデュには欠かせないチーズです。

アルプスの少女ハイジやアメリカのアニメで目にする、穴のあいたチーズといえば、このエメンタールチーズのことを指します。

自家農場及び近辺の酪農農家で搾乳したミルクを製品化しています。

生産工場が一般に開放されており、製造工程の見学していただけます。

また、併設レストランでは、フォンデュ料理をお召し上がり下さい。



<イタリア>

◆④ ミラノ市場 <卸売市場>

所在地：Via C, Lombroso 54-20137

市場対象人口：約1,000万人

取扱品目：水産（2万トン）、青果（100万トン）、食肉（1万トン）、花き、家禽、ウサギ肉など

開設年：1980年

管理者：ミラノ食糧配給卸売市場開設経営組合株式会社

敷地面積：89ha

市場内業者数：青果物卸売業者160社、生産者162人、運搬業者110社、輸出業者90社など

特色：イタリア最大の市場であり、IT化を取り入れている。



◆⑤ コルバリ農場 <有機野菜農場>

住所：Cernusco sul Naviglio ※ミラノの北東に約20km

概要：1976年に設立。1987年より有機農法を開始。敷地面積は4ha。

経営者のアントニオ・コルバリ氏は、イタリアの有機栽培団体「アヤブ協会」のロンバルディア局長を務め、ミラノ大学で講師をしている。約40種類の樹木を植樹し、森に近い生態系の環境を農場全体に作ってきた。鳥や虫などを呼び戻し、バランスの取れた生態系を再現し、害虫防除に天敵を利用している。

栽培作物：トマト、ナス、トウガラシ、ズッキーニ、セロリ、リーフレタス、アスパラガス、キャベツ、カリフラワー、カブ、タマネギなど30品目以上を作っています。



<スペイン>

◆⑥ サト カル レイ (SAT CAL REI) <肉牛肥育農場>

住所：Sta. Eugenia de berga (サンタ・エウヘニア・デ・ベルガ) ※バルセロナの北、約 80km

概要：サト カル レイは、バルセロナ郊外にある 1972 年に開業した家族経営の肉牛肥育農場です。

最高品質の肉牛生産を保証するために、以下に努めています。

- 1) 家畜の放し飼い：肉牛は生まれてから自由で快適に飼育されています。
- 2) 家畜の餌：全ての家畜の餌は、穀物農場で栽培されています。
- 3) 環境配慮：近代的な水の再利用システムや水を家畜小屋のクリーニングに使用するシステムがあります。

サト カル レイでは、雄牛、子牛合わせて 300 頭ほどの家畜を保有しております。

施設見学のプログラムですが、下記となります。

- ・ 穀物農場（家畜の餌を栽培している所）と放牧場
- ・ 家畜小屋
- ・ 水再利用システムとクリーニングシステム

近年の酪農産業は、国民の健康のために食品を提供するという栄養面のみならず、家畜にストレスを与えないように飼育を行うアニマルウェルフェアの考えを取り入れることや地球に優しく環境に配慮した酪農法を行うという環境面の役割も担っています。この視察では、スペインの酪農事情や自然と科学技術の調和の取れた酪農業を学ぶことが出来ます。

◆⑦ マシア・オリベーロ <果樹・野菜農家>

住所：Castellbisbal ※バルセロナの北西に約 40km

概要：バルセロナ郊外の有機農場です。スペイン農林水産省やカタルーニャ自治州の自然環境課によって支援されています。

カタルーニャ地方の有機農作物の監査・認定を行う法人格のある監督機関の政府団体 CCPAE によってエコロジカル製品を作るための 20ha の土地を持っています。

この農場では、季節に合わせて、チェリー、ピーチなどの果樹やジャガイモとトマト、レタスなど多種類の農作物が栽培されています。

また、オリーブ畑やブドウ畑からオーガニックオイルや有機ワインも生産されています。

